

『すまいる通信』配信のお知らせ

毎月20日に
配信します

『すまいる通信』は、あらかじめご登録いただいた方にパソコンや携帯電話などのメールを利用して、支援に役立つ情報やイベントをお知らせするサービスです。ぜひご利用ください。

(情報利用料は無料。ただし通信料は自己負担となります)

新規登録、登録内容の変更・登録の解除

下記のアドレスまたは右のQRコードより
案内に従い、空メールを送信してください。

▶ <http://www.setagaya-mail.jp/top.html>



〈配信元・問合せ先〉

世田谷区障害福祉担当部 障害者地域生活課 TEL 03-5432-2227 FAX 03-5432-3021

世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日(祝日及び年末年始を除く)
午前9時～午後6時

利用方法

世田谷区在住の方を対象としています。
何かお困りのことがあれば、まず、世田谷区発達障害
相談・療育センター「げんき」にお電話ください。

TEL 03-5727-2236(相談専用)

〒157-0074 世田谷区大蔵 2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3 階
TEL 03-5727-2235(代表)
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp>

業務受託：社会福祉法人 トボスの会

〒123-0844 足立区興野2-18-12
TEL 03-5837-4830 FAX 03-3890-8121

今後の催し

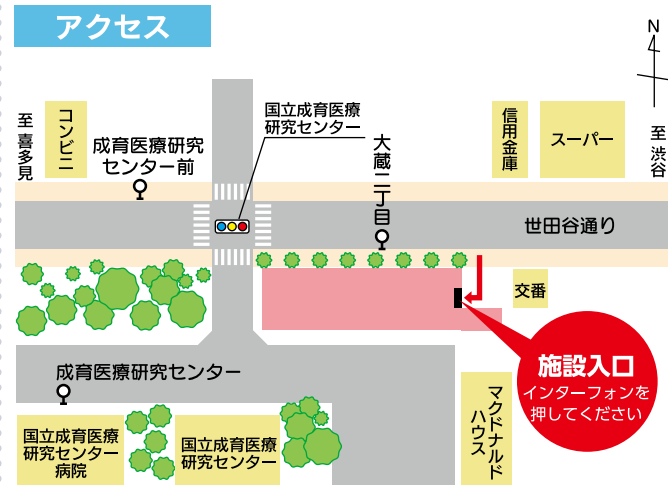
発達障害理解のための講演会

「発達障害のある子どもを
生活の中で支援する
～家庭・学校・地域でできること～」

日時：8月23日(木) 午後6時～
会場：成城ホール

※詳細は7/15号区報をご覧ください

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス・小田急バス

〔渋24〕 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅

東急バス

〔都立01〕 成城学園前駅 ↔ 都立大学駅北口

〔等12〕 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所

〔用06〕 成城学園前駅 ↔ 用賀駅

小田急バス

〔渋26〕 調布駅南口 ↔ 渋谷駅

東急コーチ

〔玉31・32〕

二子玉川駅 ↔ 成育医療研究センター

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究セン
ター前」で下車。東急コーチ、成城学園前駅行き、調布駅
南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。

Gpress せたがや

第34号
2018
7月発行

「ジープレスせたがや」
<http://www.ryo-iku.jp>
GpressのGは愛称「げんき」のGです。

第4回 子どものミカタ・発達のミカタ

子どもたちは、「人と関わりたい」「こんな活動をしたい」といった
さまざまな思いを持っています。

私たちはその気持ちを育むために、このようなことをめざして関わっています。



成功体験を
しっかり積む



失敗に
寄り添ってくれる
人がいる



安心できる人が
そばにいる



楽しめる活動を
増やす

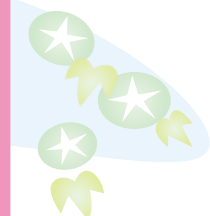
今号では、「困ったときに助言をもらえる人がいる」、
「失敗しても再チャレンジする力をつける」
を取りあげてご紹介します。



困ったときに
助言をもらえる
人がいる



失敗しても
再チャレンジ
する力をつける



「げんき」では、発達障害に関する全般的なご相談をお受けしています。

まずはお電話ください

03-5727-2236 (「げんき」相談専用番号)

子どものミカタ・発達の子ミカタ

周囲の人々が子どもの味方となるよう子どもの見方・発達の見方をご紹介します。
今回のシリーズは、今号で最終回です。



困ったときに助言をもらえる人がいる



Nさんは小学生のころ、困ったことがあるとどうしていいかわからず、動けなくなってしまう、その場に立ちすくむことがありました。

お母さんはそんなNさんを見て、困ったときにはヘルプサインを出して助けてもらいながら成長していけるといいなと思い、担任の先生に相談しました。そこで、先生はNさんと話す時間を作り、困ったときには先生の近くに行く、先生を呼ぶ、手を挙げるなどできそうなことを話し合いました。



その後も、立ちすくんでいる様子があった時は先生から声をかけていましたが、少しずつNさんからも発信できるようになっていきました。

中学生になった今では、少しずつ自己理解が進み、自分がどんなことで困っているかがわかるようになってきました。苦手なことがあった時や困った時には、自分で工夫をしたり、先生や友だちに助けを求めたりしながら生活しています。

あのさ...



まとめ

子どもたちの「人と関わりたい」「こんな活動をしたい」といったさまざまな思いを育むためには、子どもを取り巻く地域の人たち(先生、友だちなど)の協力が必要です。しかし、子どもたちの中には、付き合いの幅を広げることによってかえって生きにくさを感じることもあります。そんな時は、一番身近な家族と安心感や信頼感を無理せず築いていくことが大切です。成功体験を積み重ね、楽しめる活動を増やしていくことで、何かうまくいかなかったときに失敗を共有できたり、困ったときに相談できたりする関係を築くことができます。



失敗しても再チャレンジする力をつける

年中のGくんは、おゆうぎ会の練習でうまく踊れず、みんなに笑われてしまったことがありました。その経験から、みんなの前での発表や注目される機会があると、暴れたりその場から逃げてしまったりするようになりました。



それを聞いた先生は、Gくんの気持ちを受け止めるようにしました。そして、不安な気持ちになったときは、部屋の中でみんなの様子を見ていてもよいこと、できるところまでやってみること、おゆうぎの得意なKちゃんのマネをすればいいことなどを具体的に伝えました。

はじめのうちは、うまくいかないこともありましたが、小さな成功を積み重ねていき、みんなの前で発表したり、注目されたりすることにも少しずつ自信が持ててきました。



困った先生はGくんのお母さんに相談してみました。すると、おゆうぎ会の練習をきっかけに、たくさんの人が見ている場になると、「次も上手にできないかも…」と不安になったり、「どうせまたみんなに笑われる」という気持ちになり、どうしていいかわからなくなってしまうようだとのことでした。

今号の記事は実際の事例をもとに内容を再構成いたしました。



そこから子どもたちのよき理解者として家族が橋渡しをしながら少しずつ保育園や幼稚園、学校に協力の輪が広がっていくのだと思います。子どもと“どうやって良い経験を増やしていけばいいのか”、“周りへの橋渡しがうまくいかない”、“どのように周囲に伝えていったらいいのかわからない”、ということがあるかもしれません。そのようなときは、「げんき」がご家族に寄り添いながら、地域との橋渡しをサポートさせていただきますので、一度ご相談ください。